

20020208

厚生労働科学研究費補助金

長寿科学総合研究事業

高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究

平成14年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 長田 久雄

平成15(2003)年 3月

高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究

目 次

I. 総括研究報告		
地域高齢者の社会参加とその妨害要因の実態	-----	1
長田久雄		
関連資料		
II. 分担研究報告		
1. 高齢者の社会参加と健康習慣との関連に関する研究	-----	24
芳賀 博		
関連資料		
2. 高齢者の社会参加とQOLに関する研究	-----	30
高田和子		
関連資料		
3. 高齢者の社会参加状況と幸福感の関連性に関する研究	-----	36
西下彰俊		
関連資料		

別添4

厚生科学研究法補助金（長寿科学総合研究事業） 総括報告書

高齢者の社会参加に関連する要因の支援システム構築に関する研究

地域高齢者の社会活動参加とその妨害要因の実態

主任研究者 長田久雄 桜美林大学大学院教授

研究要旨

高齢者の社会参加は、高齢者自身の健康の維持増進と関連するばかりでなく、高齢社会におけるマンパワーの活用の観点からも重要だと考えられる。本研究では、都市部のシルバー人材センターおよび老人クラブ連合会に登録している中高齢者、3,357人を対象として、社会参加の実態とその関連要因に関する調査を行った。全体で1,924人から回答が得られたが、本報告においては、その中の500人（男性333人、女性163人、不明4人）を対象として分析を行った。年齢は、60歳代283人、70歳代192人で、大部分が60歳、70歳代であった。分担研究者の芳賀は社会参加と健康習慣との関連、高田は社会参加とQOLとの関連、西下は社会参加と幸福感との関連について述べるが、ここでは、研究全体を包括する基礎的観点から、社会活動参加の実態とその妨害要因を中心に述べる。

社会活動参加の実態としていつもしているとする回答の割合が相対的に高かった項目は、「生活用品などの買い物」（49.6%）、「近所づきあい」（39.4%）であり、まったくしていないとする回答が高かった項目は、「インターネット上のサークル」（89.7%）、「学校学習の支援」（87.8%）、「授業参観」（87.3%）、「研修会・講座などの講師」（87.2%）などであった。最も重要だと思う社会活動は、「近所づきあい」（20.1%）であった。

社会的活動への参加を妨害している要因のうち、個人的側面の要因は、「体力の衰え」（26.1%）、「興味を持てる活動がない」（20.5%）、「誘ってくれる友人がいない」（20.3%）などであり、環境的側面の妨害要因とする回答が多かったものは、「費用がかかりすぎる」（24.4%）、「移動手段が不便」（17.6%）、「施設などの利用がしにくい」（17.6%）、制度的側面の妨害要因とする回答が多かったものは、「自分にあった活動がない」（30.5%）、「社会活動の情報が乏しい」（25.6%）であった。

本調査対象は、シルバー人材センター登録者が多かったので、このことを考慮して考察しなくてはならないが、社会活動では、身近で日常的な社会的活動やスポーツ、人間関係を伴う趣味の活動が多かった。これに対して、インターネットを利用した活動などは少なく、高齢者ではITの利用が浸透していないことが示唆される。また、学校学習の支援や研修会・講座などの講師などの活動も少なく、こうした場面での高齢者のマンパワーの活用が進んでいないことが伺われた。社会参加において社会奉仕が重要であるとする回答が比較的多かったにも関わらず、必ずしも社会奉仕や社会貢献の活動が多くなかったことは、高齢者のマンパワーを活用するという観点から検討すべき課題といえよう。

社会的活動への参加を妨害している要因としては、個人的な要因では、自分に合った、興味

を持てる活動が少ない、費用がかかり移動や施設の利用が不便といった要因に加え、情報が乏しいという回答もみられた。個人の状況だけでなく、社会的、制度的な側面において考慮すべき要因が少なくないと考えられる。

A. 研究目的

本研究の目的は、高齢者の社会参加に関連する要因を検討し、社会参加が社会貢献および参加者の心身の健康維持増進と生活の質向上につながるような条件整備の方途を明らかにすることである。筆者らの50歳代を中心とした勤労者とその配偶者を対象とした調査1)において、定年退職後に、ボランティアなどを通して社会貢献をしたいと考えているか、という質問を実施したが、その結果、勤労者の78.2%、配偶者の68.9%が、積極的にしたい、ないし機会があればしたいと回答していた。一方、定年退職後に、ボランティアなどを通して社会貢献をする準備をしているか、という質問に対しては、勤労者の83.5%、配偶者の83.5%が、まったくしていない、あまりしていない、と回答していた。

高齢社会においては、高齢者のマンパワーを積極的に活用することが不可欠である。しかし、先述のように、定年退職後に社会貢献をしたいと考えている人が少なくないにもかかわらず、そうした準備をしていない中高齢者が多く、実際には高齢者の社会参加、社会貢献も不十分である可能性が示唆される。本研究の目的は、最終的には、社会参加を促進し、潜在化している高齢者のマンパワーを活用するためのシステムを提案することにあるが、本年度は、まず、高齢者の社会参加の実態を調査し、高齢者の社会参加を促進もしくは妨害している要因および社会参加の心身に対する効果を検討するための調査を実施した。

B. 研究方法

対象：足立区のシルバー人材センターおよ

び老人クラブ代表を介して、60歳以上の3,357人に調査票を配布し、1,924人から回答が得られた。回収率は52.3%であった。

調査期間と方法：2002年12月17日に、調査票をシルバー人材センターおよび老人クラブ代表に一括送付し、シルバー人材センターでは、1月6日から10日の間に、各支部より登録会員に対して個別に、また、老人クラブにおいては、ほぼ同時期に代表者から会員に個別に配布した。2003年1月から2月に、郵送および区内に設定した会場において個別に回収した。会場においては、調査票の確認と次年度の追跡調査への協力の諾否を中心とした簡易面接を行った。

調査内容：調査項目は、年齢、性別、同居家族、健康度自己評価、日常生活活動能力、生活の質評価、収入のある仕事の有無、社会的活動の種類と程度、重要だと思う社会的活動、社会的活動への参加のきっかけ、将来の生活に対する考え、社会的活動に参加する意義、社会的活動への参加を妨害している個人的・環境的・制度的要因、身体の具合、通院、日常生活習慣、孤独感、幸福感であった2) 3) 4) 5)。

C. 研究結果

本報告全体では、回収された調査票のうち、先行して入力終了した500人のデータの集計を基に、分担研究者の芳賀は社会参加と健康週間との関連、高田は社会参加とQOLとの関連、西下は社会参加と幸福感との関連について、それぞれ後述する。ここでは、本研究全体を包括する観点から、調査対象の基本的特性である1. 性別、2. 年齢区分、3. 同居家族の社会的背景と、社会的活動の実態

とそれに関連する項目である、4. 収入のある仕事の有無、5. 社会的活動の種類と程度、6. 重要だと思う社会活動、7. 社会的活動への参加のきっかけ、8. 社会的活動に参加する意義、および9. 社会的活動への参加を妨害している要因に関する結果について述べる。

1. 性別は、男性333人、女性163人、不明4人であった。

2. 年齢区分は、50歳代8人（男性2人、女性6人）、60歳代283人（男性176人、女性107人）、70歳代192人（男性147人、女性43人）、80歳代13人（男性7人、女性6人）、90歳代1人（女性1人）、不明3人（男性1人、不明2人）であった。

3. 同居家族の人数は、一人暮らし58人（11.7%）、二人259人（52.4%）、三人99人（20.0%）、四人39人（7.9%）、五人13人（2.6%）、六人15人（3.0%）、七人以上11人（2.2%）であった。

4. 収入のある仕事の有無は、「現在収入のある仕事についていますか」という質問に対して、いる355人（男性253人、女性102人）、いない137人（男性77人、女性60人）であった。

5. 社会的活動の種類と程度は、表1-1から表1-34に示した。いつもしているという回答の割合が相対的に高かった項目は、「生活用品などの買い物」（49.6%）、「近所づきあい」（39.4%）、「シルバー人材センターなどの活動」（22.6%）、「スポーツや運動」（19.7%）、「趣味の会など仲間内の活動」（19.7%）、「町内会や自治会の活動」（18.5%）、「デパートなどでの買い物」（16.4%）、「お参りや礼拝に行く」（16.0%）であった。一方、まったくしていないという回答の割合が相対的に高かった項目は、「インターネット上のサークル」（89.7%）、「学校学習の支援」（87.8%）、「授業参観」（87.3%）、「研修会・講座などの講師」（87.

2%）、「PTAのOB会への参加」（83.7%）、「高齢者学級などの活動」（83.6%）、「各種協議会の委員」（82.3%）、「宗教団体の活動」（81.3%）、「外国旅行」（81.1%）、「カルチャーセンターなどの学習活動」（76.6%）、「市民活動など団体への参加」（66.7%）であった。

6. 重要だと思う社会活動は、表2に示した。重要だと思う社会活動との回答の最も多かったものは、「近所づきあい」（20.1%）であり、次いで「シルバー人材センターなどの活動」（15.8%）、「社会奉仕」（10.9%）であった。

7. 社会的活動への参加のきっかけは、表3に示した。きっかけとして最も多かった回答は、「個人の意志」（47.3%）であり、次いで「友人のすすめ」（41.0%）であった。

8. 社会的活動に参加する意義は、「とても意義がある」が20.1%、「意義がある」が60.0%、「あまり意義はない」が15.9%、「意義はない」が4.0%であった。

9. 社会的活動への参加を妨害している要因のうち、個人的側面の要因は表5-1に、環境的側面の要因は表5-2に、制度的側面の要因は表5-3に、それぞれ示した。個人的側面の妨害要因とする回答が多かったものは、「体力の衰え」（26.1%）、「興味の持てる活動がない」（20.5%）、「誘ってくれる友人がいない」（20.3%）、「参加意欲がわかない」（19.0%）、「時間的余裕がない」（15.7%）、「価値観に合わない」（14.9%）、「人間関係が煩わしい」（14.9%）であった。一方、「充実感が感じられない」（5.8%）、「新しいことを学ぶのが面倒」（5.8%）、「参加すると疲労する」（6.9%）、「身体疾患がある」（9.1%）、「聴力の衰え」（9.5%）、「移動時の危険がある」（9.9%）は、相対的に少なかった。

環境的側面の妨害要因とする回答が多かったものは、「費用がかかりすぎる」（24.

4%)、「移動手段が不便」(17.6%)、「施設などの利用がしにくい」(17.6%)であった。一方、「家の仕事を手伝ってくれる人がいない」(4.6%)は少なかった。

制度的側面の妨害要因とする回答が多かったものは、「自分にあった活動がない」(30.5%)、「社会活動の情報が乏しい」(25.6%)であった。一方、「意見が活動に生かせない」(7.7%)は、相対的に少なかった。

D. 考察

本調査では、シルバー人材センターを介して調査の協力を得た対象が多かったため、性別は、2対1で男性が多く、年齢は60歳代が多く、ほとんどが60歳代と70歳代であった。したがって、本報告の結果には、男性の前期高齢者の傾向が強く反映している可能性が考えられる。

収入のある仕事に関しては、現在収入のある仕事についているとする回答が多かったが、その回答の内、91.8%(326人)が、シルバー人材センターの仕事であり、それ以外の収入のある仕事をしている人は、極めて少なかった。この点に関しても、シルバー人材センターの協力による調査であることによる対象の特性を反映した結果であり、以下の考察において、このことは十分に考慮しなくてはならないと考えられる。

社会的活動の種類と程度に関しては、「シルバー人材センターなどの活動」以外では、「生活用品などの買い物」、「近所づきあい」、「町内会や自治会の活動」、「デパートなどの買い物」など、身近で日常的な社会的活動が多く、「スポーツや運動」のような健康維持につながる活動や、「趣味や会など仲間内の活動」など対人関係を伴う趣味や娯楽に関連する活動、「お参りや礼拝に行く」という宗教に関連する活動が相対的に多かった。これに対して、「インターネット上のサークル」の活動は少なく、社会的活動としてIT

の利用は、高齢者では浸透していないことが示唆される。また、高齢者を対象として、各地域で比較的活発に実施されている「高齢者学級などの活動」や「カルチャーセンターなどの学習活動」も少なかったが、これは、調査対象がシルバー人材センター登録者であるため、こうした活動より仕事に時間を費やしていることも考えられる。「お参りや礼拝に行く」という活動は比較的多かったのに対して、「宗教団体の活動」は行っていないとする回答が多く、お参りや礼拝が宗教活動というより、個人的な日常生活の中の身近な活動として行われている可能性が伺われた。最近では、高齢者が小中学校などの学習支援や地域活動における講師などを担う機会も増えてきているようであるが、本調査結果からは、「学校学習の支援」、「研修会・講座などの講師」などの社会的活動をしているという回答は少なかった。また、地域の協議会や市民活動などへの参加も、多いとはいえず、社会貢献につながる社会的活動はあまり行われていないことが示された。

重要だと思ふ社会的活動では、「近所づきあい」が最も多かったが、これは上述のように、社会的活動として身近な日常的活動をあげる回答が多かったことから理解できる結果といえよう。一方、「社会奉仕」を重要だとする回答が比較的多かったにも関わらず、必ずしも社会奉仕や社会貢献の活動が多くなかったことは、高齢者のマンパワーを活用するという観点から検討すべきではないであろうか。すなわち、社会奉仕をしたいという希望があっても、その機会や方法、情報などが不十分である可能性が考えられる。

社会的活動への参加のきっかけでは、「個人の意志」が最も多く、高齢者の社会参加を活性化し支援するためには、本人の意志や意欲に働きかけることが重要であると考えられる。また、「友人のすすめ」も多く、ソーシャル・ネットワークを有効に機能させるこ

とが、高齢者の社会的活動への参加を促進するために有用であることが示唆される。

社会的活動に参加する意義では、「とても意義がある」、「意義がある」とする回答が多く、社会的活動に意義を認める人が多いことが明らかとなった。本調査の対象にシルバー人材センター登録者が多かったことを考慮しても、機能的に健康な高齢者の多くは、社会参加に意義を感じていると考えられるので、どのような点に意義を感じるかにも配慮しつつ、各個人の意識や意欲に合致した社会的活動の機会を提供する仕組みを考える必要があるのではないだろうか。

社会的活動への参加を妨害している要因のうち個人的側面の要因では、「体力の衰え」が多かった。高齢者の社会的活動として、体力が衰えても可能な活動を考慮すべきであろうか。「興味を持てる活動がない」、「参加意欲がわからない」、「価値観に合わない」という回答も多かったが、高齢者の希望を把握して、社会的活動の種類や内容の見直しを図る必要がある。また、「誘ってくれる友人がいない」、「人間関係が煩わしい」という回答が多かったことにみられるように、社会的活動においては人間関係が重要な要因であり、その調整をするような支援体制も有用であろう。一方、「充実感が感じられない」、「新しいことを学ぶのが面倒」、「参加すると疲労する」、「身体疾患がある」、「移動時の危険がある」といった回答が相対的に少なかったことは、社会的活動を妨害する不可避な個人的要因は、必ずしも多くないことを示唆するものと考えられよう。

環境的側面の妨害要因では、「費用がかかりすぎる」、「移動手段が不便」、「施設などの利用がしにくい」という回答が多く、いずれも改善の可能性があるものと考えられる。これに対して、「家の仕事を手伝ってくれる人がいない」と、家庭環境の要因をあげる人は少なかった。

制度的側面の妨害要因では、「自分にあった活動がない」、「社会活動の情報が乏しい」という回答が多く、上述同様、社会的活動が自分の希望や要望に合っていないと感じている高齢者が少なくないことが示唆された。また、社会的活動を行う機会だけでなく、情報へのアクセスも不十分であることが示された。

これらを総合すると、「体力の衰え」、「興味を持てる活動がない」、「誘ってくれる友人がいない」、「費用がかかりすぎる」、「自分にあった活動がない」、「社会活動の情報が乏しい」といった要因が社会的活動を妨害する主要な要因と考えられる。次年度以降の調査では、社会活動を行っていない人を対象に含めて、これらの要因をさらに詳細に調査し、妨害要因を除去する方法を検討する必要がある。

E. 結論

高齢者の社会参加の実態としては、身近な日常活動が多く、社会貢献につながる活動は必ずしも浸透していない可能性が示唆された。一方、「社会奉仕」を重要だとする回答が比較的多かったにも関わらず、必ずしも社会奉仕や社会貢献につながる活動を行っているという回答が多くなかったことは、高齢者のマンパワーを活用するという観点から今後検討すべき課題だと考えられる。

社会参加の妨害要因としては、体力の衰えのような個人の要因だけでなく、興味を持てる活動や自分にあった活動がない、費用がかかりすぎる、誘ってくれる友人がいないといった社会的な要因、社会活動の情報が乏しいといった制度的要因も挙げられた。とくに、社会的、制度的要因には対策の余地があると考えられるので、これらの結果をさらに詳細に調査し、妨害要因を除去する方法を検討する必要がある。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

特になし

H. 知的所有権の取得状況

特になし

文献

- 1) 長田久雄・岡本多喜子・立山萬里他. 老人性痴呆(ぼけ)に関する家族意識の調査研究報告書. 財団法人ぼけ予防協会. 2001.
- 2) 古谷野亘・柴田博. 老研式活動能力指標の交差妥当性. 老年社会科学. 14. 34-42. 1992.
- 3) 太田壽城・芳賀博・長田久雄他. 地域高齢者のためのQOL質問表の開発と評価. 日本公衆衛生雑誌. 48(4). 258-267. 2001.
- 4) 橋本修二・青木利恵・玉腰暁子他. 高齢者における社会活動状況の指標の開発. 日本公衆衛生雑誌. 44(10). 760-768. 1997.
- 5) 安藤孝敏・長田久雄・児玉好信. 孤独感尺度の作成と中高年における孤独感の関連要因. 横浜国立大学教育人間科学部紀要Ⅲ(社会科学). 3. 19-27. 2000.

表1-1 近所づきあい

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	122 36.7%	72 45.0%	194 39.4%
時々している	117 35.2%	63 39.4%	180 36.6%
あまりしていない	76 22.9%	17 10.6%	93 18.9%
まったくしていない	17 5.1%	8 5.0%	25 5.1%
合計	332 100%	160 100%	492 100%

表1-2 生活用品などの買い物

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	106 31.9%	139 85.8%	245 49.6%
時々している	176 53.0%	20 12.3%	196 39.7%
あまりしていない	42 12.7%	1 0.6%	43 8.7%
まったくしていない	8 2.4%	2 1.2%	10 2.0%
合計	332 100%	162 100%	494 100%

表1-3 デパートなどでの買い物

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	47 14.2%	34 21.0%	81 16.4%
時々している	160 48.2%	95 58.6%	255 51.6%
あまりしていない	93 28.0%	22 13.6%	115 23.3%
まったくしていない	32 9.6%	11 6.8%	43 8.7%
合計	332 100%	162 100%	494 100%

表1-4 近くの友人を訪問する

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	28 8.4%	32 19.9%	60 12.2%
時々している	152 45.8%	93 57.8%	245 49.7%
あまりしていない	116 34.9%	26 16.1%	142 28.8%
まったくしていない	36 10.8%	10 6.2%	46 9.3%
合計	332 100%	161 100%	493 100%

表1-5 近くの親戚を訪問する

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	36 10.9%	16 9.9%	52 10.5%
時々している	159 48.0%	98 60.5%	257 52.1%
あまりしていない	94 28.4%	36 22.2%	130 26.4%
まったくしていない	42 12.7%	12 7.4%	54 11.0%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-6 遠くの友人を訪問する

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	7 2.1%	3 1.9%	10 2.0%
時々している	87 26.3%	59 36.6%	146 29.7%
あまりしていない	158 47.7%	69 42.9%	227 46.1%
まったくしていない	79 23.9%	30 18.6%	109 22.2%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-7 遠くの親戚を訪問する

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	17 5.1%	6 3.7%	23 4.7%
時々している	134 40.5%	82 50.9%	216 43.9%
あまりしていない	128 38.7%	51 31.7%	179 36.4%
まったくしていない	52 15.7%	22 13.7%	74 15.0%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-8 国内旅行

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	25 7.6%	9 5.6%	34 6.9%
時々している	145 43.8%	85 52.8%	230 46.7%
あまりしていない	100 30.2%	39 24.2%	139 28.3%
まったくしていない	61 18.4%	28 17.4%	89 18.1%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-9 外国旅行

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	2 0.6%	0 0.0%	2 0.4%
時々している	15 4.5%	17 10.6%	32 6.5%
あまりしていない	37 11.2%	22 13.7%	59 12.0%
まったくしていない	277 83.7%	122 75.8%	399 81.1%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-10 お参りや礼拝に行く

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	52 15.7%	27 16.7%	79 16.0%
時々している	165 49.8%	97 59.9%	262 53.1%
あまりしていない	78 23.6%	22 13.6%	100 20.3%
まったくしていない	36 10.9%	16 9.9%	52 10.5%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-11 スポーツや運動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	67 20.2%	30 18.5%	97 19.7%
時々している	100 30.2%	47 29.0%	147 29.8%
あまりしていない	96 29.0%	53 32.7%	149 30.2%
まったくしていない	68 20.5%	32 19.8%	100 20.3%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-12 レクリエーション活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	23 6.9%	15 9.3%	38 7.7%
時々している	69 20.8%	40 24.8%	109 22.2%
あまりしていない	123 37.2%	50 31.1%	173 35.2%
まったくしていない	116 35.0%	56 34.8%	172 35.0%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-13 地域の行事の参加

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	46 13.9%	18 11.2%	64 13.0%
時々している	73 22.0%	59 36.6%	132 26.8%
あまりしていない	98 29.5%	49 30.4%	147 29.8%
まったくしていない	115 34.6%	35 21.7%	150 30.4%
合計	332 100%	161 100%	493 100%

表1-14 町内会や自治会の活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	64 19.3%	27 16.8%	91 18.5%
時々している	79 23.9%	64 39.8%	143 29.1%
あまりしていない	90 27.2%	41 25.5%	131 26.6%
まったくしていない	98 29.6%	29 18.0%	127 25.8%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-15 町内会や自治会役員として活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	55 16.6%	15 9.3%	70 14.2%
時々している	56 16.9%	49 30.4%	105 21.3%
あまりしていない	65 19.6%	37 23.0%	102 20.7%
まったくしていない	156 47.0%	60 37.3%	216 43.8%
合計	332 100%	161 100%	493 100%

表1-16 老人会の活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	28 8.4%	14 8.6%	42 8.5%
時々している	40 12.0%	23 14.1%	63 12.7%
あまりしていない	63 19.0%	22 13.5%	85 17.2%
まったくしていない	201 60.5%	104 63.8%	305 61.6%
合計	332 100%	163 100%	495 100%

表1-17 趣味の会など仲間内の活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	57 17.3%	40 24.5%	97 19.7%
時々している	73 22.1%	43 26.4%	116 23.5%
あまりしていない	59 17.9%	22 13.5%	81 16.4%
まったくしていない	141 42.7%	58 35.6%	199 40.4%
合計	330 100%	163 100%	493 100%

表1-18 社会奉仕

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	29 8.8%	13 8.1%	42 8.6%
時々している	51 15.5%	32 19.9%	83 16.9%
あまりしていない	85 25.8%	27 16.8%	112 22.9%
まったくしていない	164 49.8%	89 55.3%	253 51.6%
合計	329 100%	161 100%	490 100%

表1-19 特技などを人に伝える活動
(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	16 4.8%	12 7.4%	28 5.7%
時々している	59 17.8%	28 17.3%	87 17.6%
あまりしていない	84 25.4%	33 20.4%	117 23.7%
まったくしていない	172 52.0%	89 54.9%	261 52.9%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-20 高齢者学級などの活動
(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	4 1.2%	3 1.9%	7 1.4%
時々している	17 5.1%	6 3.7%	23 4.7%
あまりしていない	33 10.0%	18 11.1%	51 10.3%
まったくしていない	277 83.7%	135 83.3%	412 83.6%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-21 カルチャーセンターなどの学習活動
(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	5 1.5%	7 4.3%	12 2.4%
時々している	17 5.2%	14 8.7%	31 6.3%
あまりしていない	41 12.4%	31 19.3%	72 14.7%
まったくしていない	267 80.9%	109 67.7%	376 76.6%
合計	330 100%	161 100%	491 100%

表1-22 市民講座などへの参加

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	9 2.7%	3 1.9%	12 2.4%
時々している	76 23.0%	39 24.2%	115 23.4%
あまりしていない	62 18.8%	36 22.4%	98 20.0%
まったくしていない	183 55.5%	83 51.6%	266 54.2%
合計	330 100%	161 100%	491 100%

表1-23 シルバー人材センターなどの活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	83 25.2%	28 17.4%	111 22.6%
時々している	84 25.5%	46 28.6%	130 26.5%
あまりしていない	77 23.3%	46 28.6%	123 25.1%
まったくしていない	86 26.1%	41 25.5%	127 25.9%
合計	330 100%	161 100%	491 100%

表1-24 市民活動など団体の参加

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	8 2.4%	6 3.7%	14 2.8%
時々している	29 8.8%	12 7.5%	41 8.3%
あまりしていない	73 22.1%	36 22.4%	109 22.2%
まったくしていない	221 66.8%	107 66.5%	328 66.7%
合計	331 100%	161 100%	492 100%

表1-25 政治団体への参加

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	20 6.1%	6 3.7%	26 5.3%
時々している	51 15.5%	21 13.0%	72 14.6%
あまりしていない	62 18.8%	30 18.5%	92 18.7%
まったくしていない	197 59.7%	105 64.8%	302 61.4%
合計	330 100%	162 100%	492 100%

表1-26 インターネット上のサークル

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	2 0.6%	3 1.9%	5 1.0%
時々している	5 1.5%	3 1.9%	8 1.6%
あまりしていない	28 8.5%	10 6.2%	38 7.7%
まったくしていない	296 89.4%	146 90.1%	442 89.7%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-27 PTAのOB会の参加

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	0 0.0%	2 1.2%	2 0.4%
時々している	19 5.8%	8 4.9%	27 5.5%
あまりしていない	35 10.6%	16 9.9%	51 10.4%
まったくしていない	276 83.6%	136 84.0%	412 83.7%
合計	330 100%	162 100%	492 100%

表1-28 会社OB会への参加

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	24 7.3%	3 1.9%	27 5.5%
時々している	59 17.8%	28 17.3%	87 17.6%
あまりしていない	51 15.4%	20 12.3%	71 14.4%
まったくしていない	197 59.5%	111 68.5%	308 62.5%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-29 宗教団体の活動

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	18 5.4%	19 11.7%	37 7.5%
時々している	20 6.0%	6 3.7%	26 5.3%
あまりしていない	20 6.0%	9 5.6%	29 5.9%
まったくしていない	273 82.5%	128 79.0%	401 81.3%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-30 学校学習の支援

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	1 0.3%	2 1.2%	3 0.6%
時々している	17 5.2%	4 2.5%	21 4.3%
あまりしていない	26 7.9%	10 6.2%	36 7.3%
まったくしていない	286 86.7%	146 90.1%	432 87.8%
合計	330 100%	162 100%	492 100%

表1-31 授業参観

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	1 0.3%	5 3.1%	6 1.2%
時々している	20 6.1%	6 3.7%	26 5.3%
あまりしていない	29 8.8%	1 0.6%	30 613.5%
まったくしていない	278 84.8%	149 92.5%	427 87.3%
合計	328 100%	161 100%	489 100%

表1-32 各種協議会の委員

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	10 3.0%	2 1.2%	12 2.4%
時々している	30 9.1%	9 5.6%	39 7.9%
あまりしていない	28 8.5%	8 5.0%	36 7.3%
まったくしていない	262 79.4%	142 88.2%	404 82.3%
合計	330 100%	161 100%	491 100%

表1-33 学校の同窓会

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	32 9.7%	20 12.3%	52 10.5%
時々している	77 23.3%	37 22.8%	114 23.1%
あまりしていない	64 19.3%	28 17.3%	92 18.7%
まったくしていない	158 47.7%	77 47.5%	235 47.7%
合計	331 100%	162 100%	493 100%

表1-34 研修会・講座などの講師

(上段N/下段%)

	性別		合計
	男性	女性	
いつもしている	4 1.2%	2 1.3%	6 1.2%
時々している	13 4.0%	7 4.4%	20 4.1%
あまりしていない	27 8.3%	9 5.7%	36 7.5%
まったくしていない	281 86.5%	140 88.6%	421 87.2%
合計	325 100%	158 100%	483 100%